## 神谷　昌宏　議員
（主な答弁者・・・産業環境部長）

### 刈谷市路上喫煙防止に関する条例を制定する狙いは
―互いに助言・協力し合える環境を整備し、市民意識の向上を図る―

**問** 現在、条例骨子案に対するパブコメが実施されている。3月議会に条例案が上程されると思うが、制定する理由は。

**答** 刈谷駅利用者から吸殻の散乱状況や受動喫煙による健康被害への懸念など、多くの意見が寄せられているためである。

**問** 骨子案作成のプロセスは。

**答** 調査・研究を重ねて素案を作成後、桜自治会を初めとした6団体や環境審議会での意見を取り入れて作成している。

**問** 県内の条例制定状況は。

**答** 安城市など7市で制定され、5市では罰則規定がある。

**問** 本市の骨子案にはなぜ、過料等の罰則規定がないのか。

**答** 市民意識の向上を主目的と考えているためである。

受動喫煙のない社会を目指して

## 上田　昌哉　議員
（主な答弁者・・・都市政策部長）

### 刈谷城建設費が当初計画を越える場合の対応は
―今後の実施設計及び検討委員会で決定していく―

**問** 平成24年を起点にすると、労務単価が約30％上昇していると聞いている。刈谷城の整備費が当初計画の30億円に納まらない場合はどのように対応するのか。

**答** 建設費と整備内容については、今後予定している実施設計の中で精査し、検討委員会などの意見を参考に決定していく。

**問** 労務単価が高い時期に建設することは、最小の経費で最大の効果を挙げなければならないとする地方自治法第2条第14項の精神に反するのではないか。

**答** 労務単価の他、原材料費などについても、設定された時期において、それぞれ適正な価格があり、地方自治法に反するものではないと考える。

刈谷城復元イメージパース

## 中嶋　祥元　議員
（主な答弁者・・・生活安全部長）

### 市民の安全安心に向けた対策強化を
―関係機関と連携を図り、市民の安全安心の確保に努めていく―

**問** 集合住宅とその駐車場への安全強化対策の考えは。

**答** 駐車場への防犯カメラの設置費を補助しており、今後は補助錠設置などの啓発も進める。

**問** 自転車が安全に車道を通行できる路線は少ないと考える。幅員の狭い歩道において、植栽帯を自転車通行帯に転用等して安全を確保する考えは。

**答** 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に則した転用を検討し、安全な歩行空間の確保に努める。

**問** 植栽帯、路肩の除草等について、管理者の異なる道路も適切に管理すべきだと考えるが。

**答** 国または県と協議し、早期対策を図っている。今後も、関係機関と調整を図っていく。

## 鈴木　絹男　議員
（主な答弁者・・・市長）

### 将来に向けたまちづくりを見据え、合併により大きな行政圏構築を
―同じ方向性を共有できるのであれば、協議していく考えはある―

**問** 先行き不透明な時代の中、持続可能な市民の暮らしの確保を目指すなら、刈谷市の枠を超えて、合併を視野に大きな行政圏の構築も必要だと考えるが、今後の戦略は。

**答** 将来を見据え、健全財政を維持している強みを活かし、次の時代の施策に取り組んでいきたい。

**問** まずは、衣浦定住自立圏内であり、資源を補完しあうことができ、より発展が望める東浦町との合併を進めるべきだと思うが、どう考えるか。

**答** 東浦町に限らず、隣接する自治体でそのようなビジョンを持ち、同じまちづくりの方向性を共有できるのであれば、協議していく考えは持っている。

衣浦定住自立圏共生ビジョン

## 渡邊　妙美　議員
（主な答弁者・・・福祉健康部長）

### 要介護認定を受けた高齢者の在宅医療と在宅介護の充実を
―定期巡回・随時対応型訪問介護看護を行う事業所の整備を検討―

**問** 要介護状態となっても自宅で生活するためには在宅医療・介護連携の充実が求められるが今後の取り組みは。

**答** 在宅医療・介護連携支援センターを設置し、医療・介護関係者からの相談の受付、連携調整、情報提供等を行う。また、医療機関や介護事業所等の資源の把握と、在宅医療と在宅介護が、切れ目なく提供される体制の構築等も進める。

**問** 切れ目ない在宅医療と在宅介護の体制構築のためには、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が不可欠だが今後の整備予定はどうなっているか。

**答** 定期巡回・随時対応型訪問介護看護については事業所の整備を計画する予定である。

## 星野　雅春　議員
（主な答弁者・・・都市政策部長）

### 民間や地域住民と知恵を出し合い、行きたくなる公園づくりを
―皆様のご意見を伺いながら魅力的な公園づくりを進める―

**問** フローラルガーデンよさみが日本公園緑地協会会長賞を受賞したのは、指定管理者、地域住民、ボランティアの努力の賜物である。公園の外周は他の公園と違い、ゴムチップで舗装されているが、その理由は。

**答** フローラルガーデンよさみは、地域住民の声を受け、外周を本格的なジョギングコースとしたため、体への負担が少ないゴムチップ舗装を行った。

**問** ウォーキングは健康を高める大切な手段の一つだが、市民への啓発活動を行っているか。

**答** 手軽で継続して行える運動として、「ノルディック・ウォーク」の体験会」や「刈谷GOGOウォーキング」などを開催している。

## 山本　シモ子　議員
（主な答弁者・・・水資源部長）

### 高齢者、子育て世帯の水道料金を減免し、暮らしの応援を
―県下でも安価な料金設定であり、減免は考えていない―

**問** 水道は、暮らしに欠かせないもの。料金滞納により給水停止になった件数は。

**答** 平成28年度が２１４件、今年度が11月1日現在で１４３件である。

**問** 滞納者などへの自宅訪問等は、誰が行っているのか。

**答** 民間の委託業者ヴェオリア・ジェネッツ株式会社である。

**問** 消費税の負担が暮らしに重くのしかかっている現状を緩和させる必要がある。市民の消費税負担はどうなっているか。

**答** 給水収益に対する消費税額は、消費税５％で納付された平成25年度が約１億１，８９０万円、消費税８％で納付された平成28年度が約１億８，８００万円である。

水道使用水量の検針

## 編集後記
## ～かけはし～

◆市議会だより第１４３号では、昨年12月の定例会の内容を掲載しています。一般質問では、過去最多となる22人の議員が福祉、教育、防災、環境など多岐にわたって市政をただしました。この模様はケーブルテレビキャッチで放送されました。現在は、市議会ホームページからもご覧いただくことができます。

◆「期待」というキーワードで３つの事柄について触れてみますと、1月には新成人の集いが開催され、期待と不安が入り混じる中、1，６６９名が大人の仲間入りをすることに希望を持ち、胸を膨らませて出発しました。

韓国・平昌において、2月には冬季オリンピックが、3月には冬季パラリンピックが開催されます。日本選手のメダル獲得へ大きな期待が寄せられています。選手一人ひとりにあっては、応援してくれる皆様の期待を背に受けながら練習の成果を発揮する場となりますので、実力を存分に出し切っていただきたいと思います。

そして4月には刈谷市立特別支援学校が開校します。多くの方が胸躍る思いで開校を待ち焦がれておられることと思います。

◆今後も市議会は皆様の声をしっかり受け止め、実現に向け全力で取り組み、その活動を市議会だよりにて、わかりやすく伝えることができるよう努めてまいります。結びに、是非議会へ傍聴にお出かけいただき、議員の発言や、市当局とのやり取りをご覧いただきたいと思います。

（議会広報委員会）